

国公立大学に合格することは大変だと、つくづく思います。まずマーク式のセンター試験を受験し、そこで得た点数を持って各大学の記述試験に臨まなければなりません。

当然、センターで各大学のボーダーラインを超えることが第一関門で、そこで失敗すると志望大学のランクを下げざるを得ません。東大なら900点満点中800点以上、名古屋大で750点以上、三重大も600点以上が毎年の目安です。名大の750点は得点率で83%、各教科で80%以上を目指さなければなりません。当然苦手教科があると大変不利なのですが、特に英語と国語の配点は200点ですので、この二教科での点数確保が必須となります。ところが、国語のできの悪い生徒が多いのです。センター試験の国語は、現代文100点、古文50点、漢文50点の配点であります。例えば、国語で合計90点となると、その一教科で110点のマイナスで、他の教科の100点分以上のマイナスとなってしまうのです。

今回明正で国語の最高点だった生徒の点数は169点(84.5%)でした。その生徒は明正のブロードバンド予備校の国語の講座を、三年生になる前から、しっかり受講してくれていました。彼女は集中力を高める為に、動画の再生スピードを2倍に速めて聞いたそうで、そうすることで眠くもならなかったとのこと。彼女が受講した講座を記しますので、講座選択の参考にしてください。『ボトムアップ現代文』(春期4コマ)(前期11コマ)(夏期5コマ)(後期11コマ)(冬期5コマ)、『センター対策 漢文』(夏期5コマ)、センターレベル古文(前期11コマ)、『センター漢文のススメ』(夏休み限定配信講座)、『イラストでイメージ＋古文』(夏休み限定配信講座)です。彼女はセンター試験終了後も、二次試験にむけて、記述強化講座である『パワーアップ現代文』の受講を進めてくれています。また、名古屋市立の薬学部合格した生徒は、漢文が苦手、学校のテストでも50点満点中20点前後だったのですが、矢崎先生の『テーマ別攻略 基礎漢文』(前期16コマ)を短期で集中的に受講した結果、センター過去問で3回連続50点満点を取るようになりました。

このように、国語は問題の解き方さえきちんと学べば、必ず、解けるようになるのです。もちろん、国語に限らず、全ての教科に同じことが言えます。ブロードバンドの先生は数多くの問題を解き、どうすれば生徒達が点を取れるようになるのかの研究に日々努力しているのです。その技を、皆さんに、是非学んで欲しいと思っています。

来たる3月15日、ブロードバンド予備校のカリスマ講師 山本一也先生により、四日市で公開授業が行われます。大学入試をエキスパートにされる先生の授業を聞くことによって、モチベーションが上がったり、勉強の方法がわかったり、理解するとはこういうことなのかと納得がいたり、たくさんの利点があります。せつかくのチャンスです(三重にはなかなかこういった有名講師の方は来られません)ので、高校生のみならず、是非参加してください。学校の授業で分からなかったところが分かるようになりますよ。

また、こちらの公開授業には、ご父兄の皆様、兄弟姉妹、お友達、年齢を問わず参加していただいても構いませんので、興味のおありの方は、申し込み用紙にご記入の上、3月7日(土)までに提出してください。

## 連絡事項

- ◆ 3月21日(土)は祝日ですが、全クラス通常通り授業を行います。
- ◆ 明正春休み 3月29日(日)～4月3日(金)  
※3月29日、30日は塾完全閉鎖となりますので、必要な勉強道具はあらかじめ持って帰っておくこと。忘れ物があっても、取りに入ることができません。
- ◆ 明正運動会 3月31日(火)